

農林水産業や食関連事業に係る立地企業等と 地元とのマッチング成功事例等調査 説明資料

開発監理部開発調査課

④農林水産業や食関連事業に係る立地企業等と地元とのマッチング成功事例等調査

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

調査の目的

道内農水産業の生産性と道産原料を活用した食の付加価値向上のため、道内外の食関連企業等が地域と連携しながら取組を進め成功している事例に着目し、具体事例を調査し、その取組状況等を広く情報提供します。

企業誘致活動等に取り組む自治体や本道への立地を検討している企業等の参考としていただき、北海道の農水産業と食関連産業の振興を図ることを目的とします。

調査の方法と内容

開発調査課職員が立地企業や自治体等を直接訪問、次の内容を調査し、HP上で広く紹介します。

- 立地事業者から、立地を決めたポイントや成功要因、苦労点等の聞き取り
- 誘致・受け入れを行った自治体等から、誘致後の効果や変化、苦労点等の聞き取り
- 両者の協力体制や、地域とのつながりに関する聞き取り

開発局

調査

調査地域

食関連
企業等

自治体

農業水
産団体

成功事例

課題

情報提供

- ・北海道への立地を検討中の食品製造道外企業
- ・誘致活動に関心ある道内自治体
- ・一般消費者 などへ

今年度の調査

当別町&かもけいアグリ(株) (本社: 加茂川啓明電機(株) (大阪) 電機設備)

当別町で農業法人を立ち上げ、自社の電機設備技術を生かし、いちごのハウス栽培に取り組むかもけいアグリ(株)と、熱心な誘致活動及び立地後も企業をサポートし、地域の産業との協力体制を積極的に行っている当別町への調査を行いました。



④農林水産業や食関連事業に係る立地企業等と地元とのマッチング成功事例等調査

当別町(概要・企業立地の優遇制度)※当別町HPより抜粋(部分)



当別町は、石狩管内の北部に位置する人口1万6,000人の町です。道都札幌市に隣接していることから豊富な人材を確保できます。

交通インフラ面では、町内を縦断している国道275号が道北圏まで延びています。国道337号は、物流の拠点である石狩湾新港から新千歳空港までを結び、国道275号と交差します。このように、交通ネットワークが非常に恵まれた場所に当別町はあります。

また、本町の基幹産業は農業であり、米、麦、野菜、豆類、花卉等を中心に良質な農産物を生産しています。さらに、平成24年10月に当別ダムが完成したことにより安定した水資源の確保が可能となっています。

- ・恵まれた立地条件(・国道337号が持つ巨大マーケット・豊富な人材)
- ・少ない災害リスク
- ・豊富な農産物



優遇制度

固定資産税を免除
雇用援助
法人町民税キャッシュバック
※新規立地に限る
水道料キャッシュバック
※1ヶ月当たり1,000立法メートル以上使用の場合
町有地賃借料キャッシュバック
用地取得費補助
※民有地を取得する場合に限る
用地賃借料補助
排水処理施設(浄化槽)設置補助
再生可能エネルギー活用施設 設置費用
※太陽光パネルなど
※限度額・期間等規定あり

■当別町の農業(2016年)

作物名	面積(ha)	収穫量(t)
水 稲	1,630	8,910
小 麦	3,440	15,800
大 豆	566	1,340
かぼちゃ	104	1,277
てんさい	43	2,600
ブロッコリー	33	233
にんじん	30	540
アスパラガス	27	52
キャベツ	10	813

■当別町の花き栽培(2016年)

作物名	生産数量(万本)	販売額(万円)
ユ リ	234	56,417
デルフィニウム	39	4,301
カーネーション	94	5,394
カスミソウ	64	6,518

▲名産品「亜麻」

©亜麻公社

当別町企業誘致パンフレット

北海道 **当別町**

都市、空港、港への良好なアクセス

企業立地の優遇制度

最大1億6,000万円

充実した優遇制度で企業活動をサポート

固定資産税を免除 固定資産税 各年度最大 1億円免除 (3年間) ※飲食料品等製造業については5年間	雇用援助 拡充 雇用への援助 最大 3,000万円補助 ※当別町民1人につき50万円(3年間)
法人町民税キャッシュバック 全額補助 (3年間) ※新規立地に限る	町有地賃借料キャッシュバック 拡充 全額補助 (3年間) ※4・5年目は1/2補助
水道料キャッシュバック 拡充 全額補助 (3年間) ※4・5年目は1/2補助 ※1ヶ月当たり1,000㎡以上 使用の場合	用地取得費 補助 NEW! 最大 3,000万円補助 ※民有地を取得する場合に限る ※用地取得費の1/2補助
排水処理施設(浄化槽)設置補助 NEW! 最大 100万円補助 ※排水処理施設整備費用の1/2を補助	用地賃借料 補助 NEW! 最大 130万円補助 (3年間) ※用地賃借料の1/2補助
再生可能エネルギー活用施設設置費用 NEW! 最大 200万円補助 ※例:太陽光パネルなど ※設置費用の1/2補助	要件 新設のための投資額 2,000万円以上 OR 増設のための投資額 1,000万円以上

対象業種 (48業種)

- ・製造業(食料品・木製品・金属製品製造業等)
- ・卸売業・農業(水耕等の溶液栽培による野菜作農業に限る)
- ・建設業・運輸業(道路貨物運送業等)・情報通信業
- ・電気・熱供給業・学術・開発研究機関
- ・小売業(無店舗小売業を除く各種商品小売業等)
- ・宿泊業、飲食店 ※小売業、飲食店は面積要件あり
- ※詳しくはお問い合わせください。

1 恵まれた立地条件

国道337号が持つ巨大マーケット

国道337号は札幌市をはじめ、新千歳空港、物流拠点の石狩湾新港、観光地でもある小樽市まで、道央面の交通の要所として充実したアクセスを誇っています。

札幌広域圏 ▶ 約**287万人**
交通量 ▶ 約**2万台**

※半径20キロ圏内でも166万人が居住。また、当別町には北海道医療大学、近隣には4つの大学があり、豊富な人材を確保できます。

フェリー
日本海側拠点港
小樽港・石狩湾新港から
新潟・青森
ロシア・中国・韓国等各国へ

国際拠点港湾
苫小牧港から
東北・北陸・関東・東海・
関西地方
北米・中国・韓国等各国へ

飛行機 (新千歳空港)
羽田・成田 95分
名古屋 105分
大阪 120分
福岡 145分

自動車
札幌市中心部 40分
石狩湾新港 30分
新千歳空港 60分
丘珠空港 20分
小樽港 60分
苫小牧港 90分

JR
札幌駅 石狩太美駅 31分
石狩当別駅 37分

2 少ない災害リスク

夏は涼やかな気候ですこしやすく、周辺には豊かな自然が広がります。自然災害の少なさは全国トップクラスで、震度3以上の地震回数は他都市と比較して少なく、大規模地震発生時の確率も低いとされている札幌圏にあります。また、梅雨がなく、台風の影響を受けることも少ない地域です。

3 豊富な農産物

当別町は豊かな水資源と恵まれた土地を生かした農業を基幹産業としています。米、麦、大豆を主力作物としながら、多種多様な野菜づくりも行われています。また花き栽培も盛んで、年間販売額約10億円を誇り、当別ブランドとして道外へも出荷しています。

■当別町の農産物(2016年)

作物名	生産量(t)	販売額(万円)
米	1,630	8,910
小麦	3,440	16,800
大豆	566	1,340
かぼちゃ	104	1,277
てんさい	43	2,600
ブロッコリー	33	233
にんじん	30	540
アスパラガス	27	52
キャベツ	10	813

■当別町の畜産物(2016年)

作物名	生産量(t)	販売額(万円)
鶏	234	56,417
豚	39	4,301
牛	94	5,394
羊	64	6,518

お問い合わせ 連絡先

当別町経済部商工課 〒061-0292 北海道石狩郡当別町白樺町58番地9

TEL (0133)23-3129 (直通) FAX (0133)23-3206

E-mail shoko@town.tobetsu.hokkaido.jp web www.town.tobetsu.hokkaido.jp

④ 農林水産業や食関連事業に係る立地企業等と地元とのマッチング成功事例等調査

かもけいアグリ株式会社

社名:かもけいアグリ株式会社(to berry farm)

住所:当別町当別太774番1

業態:イチゴ観光農園

親会社:加茂川啓明電機(株)(大阪府)

親会社の事業内容:電子応用機器、情報通信機器、監視制御装置、
環境機器並びにシステム関連業務等

イチゴの観光農園

名称:to berry farm(トゥーベリーファーム)

場所:「北欧の風 道の駅とうべつ」隣接地

業務:イチゴ狩り、直売

期間:通年(培養土の消毒時期を除く)

品種:「よつぼし」

栽培形式:高設栽培

当別町で農業法人を立ち上げ、自社の電機設備技術を活かし、いちごのハウス栽培に取り組まれている、かもけいアグリ株式会社と、熱心な誘致活動及び立地後も企業をサポートし、地域の産業との協力体制を積極的に行っている当別町役場にお話を伺いました。

1 かもけいアグリ株式会社 佐野社長に伺いました。

立地を決めたポイントとは？

集客が見込める（道の駅に隣接）・役場の対応（熱意、対応の早さ）

「はじめはほかの場所で考えていたのですが、相談していた銀行から当別町を紹介いただいて、来てみたら、景観が素晴らしかったことと、道の駅の隣接地という場所柄、集客が見込めると思いました。札幌からも近いことと、そして何より役場からの熱心な勧誘もいただいて。役場の皆さんの熱意と、動きが良かった（対応が早かった）ことも決め手になりました。」



【北欧の風 道の駅とうべつ】



【イチゴ摘み体験 受付】

ハウスの特徴を教えてください。

高設栽培・親会社の制御システム技術を活用したハウス

「イチゴは、高設栽培と言って、大人の腰の高さくらいの棚を組み栽培しています。親会社が電機設備関係の会社ですので、水や栄養剤の供給、調光時間、ハウス内の温度・湿度調整などは、親会社の東北支店で持っている技術を活用して自動制御で管理しています。」

現在750㎡ほどのハウス3棟を運営していますが、高設式のため、作業の際に体に負担をかけず効率的に作業や摘み取りが出来ることと、自動制御のおかげで、通常は3～5人で十分切り盛り出来ています。

またイチゴが直接土に触れないので衛生的です。イチゴ狩りに来たことも達や高齢の方でも楽にイチゴが摘み取れて楽しむことが出来ます。」



【受付からハウスへの通路】



【ハウス入口】

立地して良かったこと、うれしかったことは？

役場からのサポート・地元農家からの協力

「当別町役場の方には、立地を決めてからも、農地の取得や様々な手続きを迅速に進めていただきましたし、活用できそうな支援制度を調べていただいたり、申請書類の作成のアドバイスをしていただき、すごく助かりました。」

それと、地元農家の方がすごく協力してくれたんです。様子を見に来てくれて気にかけてくれて、土地の整地など色々助けてくれて、応援してくれたことがうれしかったですね。」



【ハウス内部】



【ハウス内部】

苦労したこと、想定外(?)だったことは？

コロナ禍・地元の気候・手探りの栽培～苗が枯れました

「一番の想定外は新型コロナウイルスです。これからオープンという矢先のことで大変でした。それとイチゴの栽培ですが、私はもともと親会社の社員で、札幌で営業職として働いていました。社員全員農業ははじめて。同じ業態の道外の企業の指導を仰いで取り組みましたが、細かいところまで教えてもらえなかったため、自分たちでインターネットで調べたりしながら手探りで進めたことも多く、苦労しました。また、その土地土地の特性もあってか、マニュアル通りにやってもうまくいかないこともあり、試行錯誤しながら取り組んでいます。以前、新たな定植の為、培地洗浄を行うときに培地を灌水してしまい培地が乾くまで10日もかかってしまい、定植予定の苗が枯れてしまった事などもありました。」

実際に立地して、経験してみてもはじめてわかることは色々ありましたが、冬の天候もその一つ。1年目は比較的穏やかな冬だったので気になりませんでしたが、翌年がすごい大荒れで…。道路が閉鎖された日もありました。いくら冬でもイチゴの摘み取りができると宣伝しても、悪天候で道路が閉鎖されてはお客さんが来れない。今後の課題というか…。」

今後の課題・展望について

天候への対応・将来はシステムとハウスのパッケージ提案へ

「夏(高温時)の集客と、冬(天候不順)の集客への対応ですね。

将来的には、親会社の制御システム技術等を活かしたこのハウス栽培事業でノウハウを培い、今後、制御システムを活用したハウスの実際のモデルケースとして、システムとハウス経営のパッケージ販売の提案を視野に入れています。」



【ハウス内部】



【ハウス内部】

新規立地を目指している方々に向けて一言

地元との連携・自ら汗を流してこそ。

「地元との関係をいかに作っていくかだと思います。孤立しては出来ない。連携しながらやっていくことが大事だと思っています。農業は自分たちで汗を流してこそ。今、農家の高齢化が各地で起きてきています。若い人たちが関心を持ってもらうような取組をしていかないと、農業をする人が増えていかないのでは…。」



【かもけいアグリ(株) 佐野社長】

2 当別町役場 森経済部長、山田商工観光課長にうかがいました。

今回、誘致して良かったことを教えてください。

地域や地元産業との結びつき

「当別町の特産品のひとつに花があります。現在、花き用ハウスに、かもけいアグリさんがイチゴのハウス栽培で使用している制御システムを応用させてもらい、農業のスマート化を目指し実証実験中なんです。

イチゴは、ハウスでの摘み取り体験のほか、地元のお菓子屋さんでも使ってもらったり、すぐ隣にある道の駅でも販売しています。今年は当別町が150周年だったものですから、記念事業として道の駅内のカフェでは、地元の高校生とコラボしてイチゴを使用したメニューも開発してもらい、期間限定で販売し大好評でした。

さらに、観光産業への貢献として、ハウスの制御装置で記録している天候データを提供していただき、道の駅の集客分析にも役立てています。当別町では今まで気象データを取得していなかったんです。道の駅のソフトクリーム売り上げなどは気温が非常に影響するので、参考にさせてもらっています。

このように、地元の学生や町内の産業にも関わってくれるのは、将来町内の雇用増にもつながる可能性でもあり嬉しいですね。

それから、かもけいさんは、イチゴ農園に町内のこどもたちや社会福祉施設の方々のなどを招いてくれました。皆さんすごく喜んでくれて、とても感謝しています。」



【地元高校生とのコラボメニュー「スウェーデンソーダ」】



【ハウス内に掲示された、イチゴ狩りを体験したこどもたちからのお礼の手紙】



【道の駅で販売しているバック詰めイチゴ】

今後に向けてのことを教えてください。

地元農家との協体制の構築・さらなるハウス増設・新たな誘致も。

「今回、道の駅当別の隣接町有地を有効利用していただけたところを（観光農園を立地していただけたところ）を探していたところ、かもけいアグリ(株)さんが、イチゴの観光農園を行いたいとのことでした。実は、当別町はもともと「太美（ふとみ）イチゴ」などの名で知られる道内のイチゴの生産地でした。それが、高齢化や、屈んでの作業がきついことから作る人が激減していたというか、ほぼ消滅に近い状態だったんです。これでまた当別のイチゴの復活にもなってくれたら嬉しいです。イチゴの生産体制が安定してきたら、当町のふるさと納税のラインナップにもエントリーしてもらいたいと思っています。」

町内の農家さんで、関心を持たれている方もおり、今後、ハウス増設に向け、地元農家との協体制の構築を目指します。

企業誘致活動に関してですが、今回の立地を機に、関西方面などの新規企業をご紹介いただいたこともあり、町と事業者の双方からの発信により新たな誘致につながっていったらと思っています。また、以前参加させていただいた、東京での企業誘致セミナーを是非また開催していただきたいです。」



【当別町 森経済部長(左)と佐野社長(右)】



【to berry farmのイチゴ～品種：よつぼし】

～ DATA ～

企業名	かもけいアグリ(株)(to berry farm) 親会社:加茂川啓明電機株式会社(大阪府)		
住所	当別町当別太774番1	代表者	代表取締役 佐野 亮
事業概要	いちごハウス栽培(観光農園) 品種名:よつぼし	連絡先	0133-27-7715
設立年	2019年5月	従業員	正社員3人(繁忙期パート1～3)
形式	立地にあたり現地法人を設立		
設備概要等	・ビニールハウス(縦15メートル×横50メートル、750㎡×3棟) ・いちご高棚栽培 ・自社技術を生かし、温度や湿度・液肥・LED照明・ハウス天井の開閉などを管理する環境制御システムを導入。 ・データは帳票化。将来的にはスマホからの確認可能を目指す。 ・受粉はミツバチで実施(ハウス内に巣箱を設置) ・現在予約制にて営業。時期により人数制限あり。		
利用した支援制度	地域づくり総合交付金(北海道)5,000万円、町の誘致制度(法人税キャッシュバック、土地購入の1/2補助、固定資産税減免5年間)		
誘致窓口	当別町役場経済部	電話	0133-23-3129

HPアドレス

・かもけいアグリ株式会社 :<https://toberryfarm.jp/>

・当 別 町 :<https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>